

投資事業評価調書 (新規・継続)

部 局 課 室 名	農政環境部環境創造局 環境政策課	記 入 者 職 氏 名	環境学習参事 千家 弘行 (学習行動担当主幹 有本 晃子)
--------------	------------------	----------------	----------------------------------

1 事業の概要

事業名	ひょうご環境体験館リニューアル事業	総事業費 (概算)	204百万円
		R元年度補正 予算計上額	204百万円

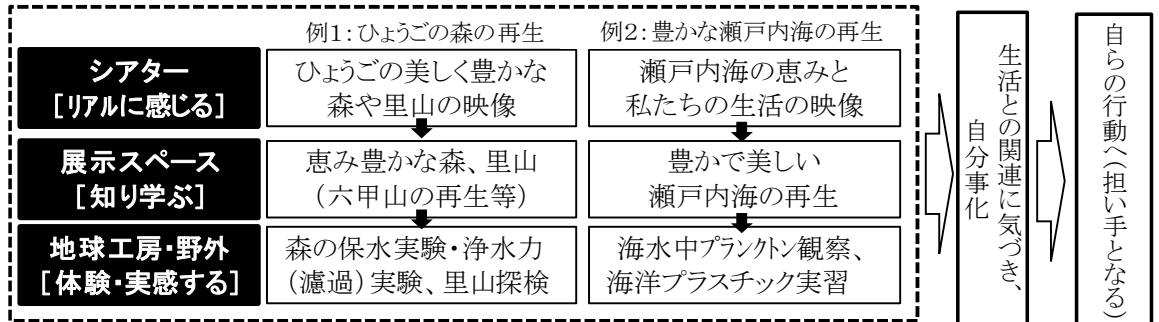
所在地	佐用郡佐用町光都1-330-3
-----	-----------------

事業目的	<p>1 整備の目的</p> <p>地球環境の持続性への危機は、ひょうご環境体験館が開設（平成20年3月）された約10年前と比較して著しく高まっている。県民、特に次世代を担う子どもたちの環境意識を高め、環境の保全と創造に関する行動につなげていくための人材の育成と情報を発信する拠点施設が求められている。</p> <p>ひょうご環境体験館がそのような社会的要請に応えた「次世代の環境の担い手を育てる施設」となるために、これまで提供してきた「体験」の充実に加え、新たに地球上で、そして地域で起きている現象を正しく理解することで、自分事化でき、生活の中での自分の行動を考える契機となる展示へとリニューアルする。</p> <p>2 主な課題</p> <p>(1) 統一感がなく単発の展示物が多い（テーマに沿った展示物の集まりとなっていない） (2) 館内動線にストーリー性がなく館のテーマが来館者に伝わりにくい。（来館者が少ない） (3) 安全・安全な施設への改修（冷房設置、アクセス道路の整備）</p> <p>【図1：展示の状況】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>(開館当初) 図書情報コーナーとして整備、展示なし</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(現状) 入手したものを展示として補充</p> </div> </div> <p>※年間7千人程度で推移</p> <p>【図2：来館者数の推移】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">H28</th> <th colspan="2">H29</th> <th colspan="2">H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来館者</td> <td>7,797</td> <td>(24.2%)</td> <td>7,226</td> <td>(22.5%)</td> <td>7,669</td> <td>(23.5%)</td> </tr> <tr> <td>館外行事参加者</td> <td>24,406</td> <td>(75.8%)</td> <td>24,898</td> <td>(77.5%)</td> <td>25,015</td> <td>(76.5%)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>32,203</td> <td>(100.0%)</td> <td>32,124</td> <td>(100.0%)</td> <td>32,684</td> <td>(100.0%)</td> </tr> </tbody> </table>		H28		H29		H30		来館者	7,797	(24.2%)	7,226	(22.5%)	7,669	(23.5%)	館外行事参加者	24,406	(75.8%)	24,898	(77.5%)	25,015	(76.5%)	合計	32,203	(100.0%)	32,124	(100.0%)	32,684	(100.0%)
	H28		H29		H30																								
来館者	7,797	(24.2%)	7,226	(22.5%)	7,669	(23.5%)																							
館外行事参加者	24,406	(75.8%)	24,898	(77.5%)	25,015	(76.5%)																							
合計	32,203	(100.0%)	32,124	(100.0%)	32,684	(100.0%)																							

事業内容

1 整備のコンセプト

- (1) 危機的な地球の現状に加え、兵庫の先導的な環境創造の取り組みを伝える展示に刷新することで、地球規模の課題が地域と繋がっていることに気づき、自らの行動変容を誘発
- (2) 展示のゾーニング化、館内動線の明確化による展示構成の抜本的な整理及び体験との連携強化
- (3) 来館者から多数の要望があった、空調及びアクセス道路の設置及び舗装



2 整備内容

(1) 展示リニューアル

ア コンセプト・館内動線

「未来の担い手」として子どもたちの気づきと自覚を引き出す環境学習施設

- ・兵庫の先導的な環境創造の取り組みを子どもに伝える (瀬戸内海や六甲山の再生等)
- ・シアター映像による導入、展示パネル、映像による学習、地球工房での体験プログラム通し、環境問題を自分事として捉えることで行動変容を誘発する

イ 展示ゾーニング整理・内容充実

- ・ゾーニングにより様々な環境問題の原因・背景を理解することに加え、それぞれのつながりが分かるよう体験の目的を明確化
- ・視覚的・体感的な展示の整備 (大型タッチパネル、模型造作、体験装置)
- ・可動式什器による展示更新の簡易化

ウ 映像ソフト・機器更新

- ・ひょうごの多様な自然環境や温暖化の現状等

(2) 設備リニューアル

ア 冷房設置

- ・地球工房に冷房設置

イ アクセス路舗装修繕

- ・不陸が生じているため舗装修繕

(参考) 改修内容

改修内容	
1	展示(展示に付随する設備を含む)
	①ひょうごの先導的な取組を伝える展示に刷新
	・大型グラフィック、展示模型等 →視覚的、体感的な理解促進
	・映像ソフト、システム更新 →映像を通じて現状をリアルに体感
	・控室を展示室化 →生きもの・標本を体験・展示
	・中庭をビオトープ化 →周辺の豊かな自然環境を体験・展示
	②ゾーニング・館内動線の明確化及び体験プログラムの強化
	・床貼・展示什器新設 →展示ゾーニング明確化
	・収納庫新設(シアター/地球工房) →資材の整理による館内動線の明確化
	・屋根付き屋外施設新設 →屋外体験プログラムとの連携強化
2	設備
	①冷房新設(地球工房)
	②アクセス路舗装修繕

事業スケジュール		R1	R2												
		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	展示設計	→													リニューアルオープン
	展示物製作					→									
	展示工事										→				
その他工事 (冷房等)	→														

2 基準に基づく評価

項目	説明
必要性	地球環境の持続性への危機が著しく高まっている中、県民、特に次世代を担う子どもたちの環境意識を高め、環境の保全と創造に関する行動に繋げていくため、人材育成と情報発信を行う拠点施設の整備が必要である。
有効性・効率性	展示による学習機能を強化するとともに体験プログラムとの連携を明確化することで、これまで以上に県民、特に次世代を担う子どもたちの環境意識の向上を効果的に図ることができ人材育成と情報発信の効率化につながる。
環境適合性	省エネルギーに配慮した照明を導入やアクセス路舗装など、環境に配慮した素材を活用する。また、来館者に環境の保全と創造に資する行動変容を誘発するような展示と体験を提供する。
優先性	開館から10年以上が経過しているが、利用者は毎年7千人程度で横ばいである。しかし一方で、地球環境の持続性への危機は、ひょうご環境体験館が開設された約10年前と比較して著しく高まっている。 県民、特に次世代を担う子どもたちの環境意識を高め、環境の保全と創造に関する行動に繋げていくため、ひょうご環境体験館のリニューアルにより、人材育成と情報発信の拠点施設として魅力向上に取り組むことは急務である。

3 審査会意見

審査会意見	事業の推進は妥当である。
-------	--------------